

まちあるき結果報告書

平成28年11月21日

● まちあるきの結果

【まちあるきの目的】

南小樽駅や病院等の生活関連施設及びそれらを結ぶ生活関連経路となる市道住吉線について、障がい（バリア）となっている場所や課題の把握のため、実際に現地を歩いて点検する現地調査を行った。

また、まちあるきによる現地確認後は、バリアフリー化に向けての課題や要望等について、ワークショップ形式により意見交換を行った。

【まちあるきの概要】

○ 実施日

- ・ まちあるき 平成 28 年 9 月 29 日（木） 13：30～15：20
- ・ 意見交換会 平成 28 年 9 月 29 日（木） 15：30～16：30

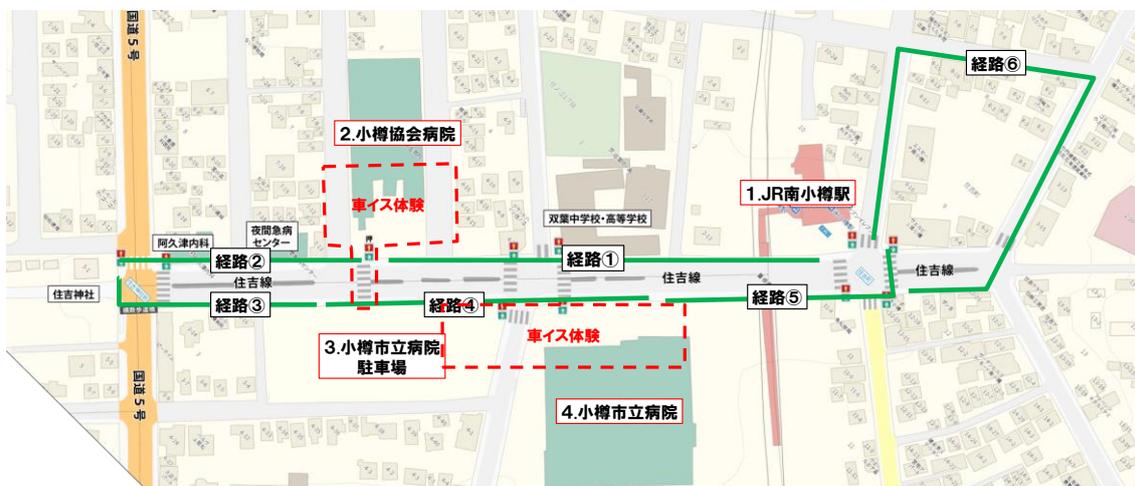
○ 実施方法

- ・ 現地を徒歩で移動し、目視での確認を行った
- ・ 車いすを使用しての疑似体験を行い、障がい者の視点で課題把握が出来るよう配慮した

○ 参加者

- ・ 協議会委員 18名
- ・ 肢体障がい者 2名

【まちあるきの経路及び施設】



○ まちあるきの様子

南小樽駅（改札内の階段）



南小樽駅（プラットフォーム）



小樽協会病院（玄関付近）



市道住吉線（横断歩道付近）



市道住吉線（交差点付近）



市道住吉線（国道5号線との交点付近）



【経路に関する主な意見】 ※主な意見の番号は、「課題のある地点」の図と対応

経路	現地調査における主な意見	
経路 ①	<p>【南小樽駅前バス停】</p> <p>1：駅前のバス停留所は始発のため、頻繁にバスが停車している。バス停留所の位置を改善すべき。</p> <p>2：バス停留場が路上にあり、雨風、降雪期のバス待ち環境が悪い。</p> <p>3：街灯が無いため、暗くて危険。</p> <p>【双葉中学校・高等学校前】</p> <p>4：双葉中学校・高等学校の道の幅がせまい（道幅 84cm）。</p> <p>5 点字ブロックが浮いているところがある。</p> <p>【ノルデン薬局前】</p> <p>6：歩道の車両乗り入れ部における擦り付けが急すぎるため危険。</p>	 

経路	現地調査における主な意見
<p>経路②</p>	<p>【小樽協会病院前押ボタン式信号機】</p> <p>7：横断歩道を渡る際、歩道から車道にかけての擦り付けが急すぎるため危険。</p> <p>8：車いすでは青時間の 30 秒で渡りきることができない。</p> <p>9：除雪の際に、歩道の車道寄りに堆雪させるため、車いす利用者は押ボタンを押すことができない。</p> <p>【小樽協会病院周辺（住吉線）】</p> <p>10：歩道が傾いており、車いす利用者には危険。</p> <p>【小樽協会病院周辺（住ノ江4丁目線）】</p> <p>11：路上駐車が多く、車いすで通行しづらい。</p> <p>12：病院への動線が傾斜になっており、車いすで通行しづらい。</p> <p>【阿久津内科前】</p> <p>13：点字ブロックが破損しているため危険。</p>
<p>経路③</p>	<p>【横断歩道橋周辺】</p> <p>14：特に冬は横断歩道橋が滑り、上り下りが危険なため、横断歩道橋は必要ない。歩車分離式信号の導入を検討してみてはどうか。</p> <p>15：歩道幅員が狭く、通行する際に危険。特に、車いす利用者は通行が困難な可能性が大きい。</p> <p>【小樽市立病院駐車場前手押し信号】</p> <p>16：手押し信号が音響式信号ではないため、目の不自由な方を考慮できていない。</p>



経路	現地調査における主な意見
経路 ④ & 経路 ⑤	<p>【小樽市立病院周辺】</p> <p>17：横断歩道が傾いている（横方向）ため歩きづらく、車いす利用者も通行しづらい。</p> <p>18：路上駐車両が多く、通行が危険。</p> <p>19：薬局が反対車線にも複数あるため、乱横断する人が多く危険。</p> <p>20：車いすを利用していると、多少の段差でも通行しづらい。</p> <p>21：点字ブロックが擦り切れており、危険。</p> <p>22：小樽市立病院へ向かう際、横断歩道がないため、乱横断する人が多く危険。</p> <p>【量徳橋周辺】</p> <p>23：雑草が手入れされていなく、歩きづらい。</p> 
経路 ⑥	<p>【住吉線沿線（住吉町側）】</p> <p>24：点字ブロックがなく、目の不自由な方にとって危険。</p> <p>【山ノ上線沿線】</p> <p>25：歩道の凹凸があり、通行しづらい。</p> <p>26：冬期間排雪が少なく、歩きづらい。</p> <p>27：観光客向けの「三本木急坂」の看板により、歩道が狭くなっており、歩きづらい。</p> <p>28：歩道上に電柱や障害物が多く、通行の障害となっている。</p> <p>【東通線沿線】</p> <p>29：住宅と道路との擦り付けが急であり、危険。</p> <p>30：バス路線であるが、路上駐停車が多いため、歩道を通行する際に危険。歩道を整備して欲しい。</p> <p>31：自動車の速度が速く、危険。</p> <p>32：東通線から歩いてくると、セブンイレブンの看板は大きくてわかりやすいが、南小樽駅を案内する看板が無く、わかりづらい。</p> <p>33：点字ブロックがはがれている箇所がある。</p>  

【施設に関する主な意見】

施設	現地調査等における主な意見
南 小 樽 駅	<p>【点字ブロック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 駅構内の点字ブロックが待合室とホームだけにしか敷設されていない。 ○ 点字ブロックが破損している箇所があり、危険。  <p>【車いす昇降機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 階段を行き来する車いす昇降機は時間がかかる。(30分程度) ○ 車いす昇降機は訓練を受けた人のみ使えることになっており、当日利用のお願いをしても使えない。駅員全員が使えるよう改善するべき。 ○ 車いす昇降機は観光客の利用がないのではなく、車いす昇降機があることを知らないのではないか。利用者へ周知する必要がある。 ○ 利用する2日前に予約が必要であることを知らない人がいるのではないか。  <p>【階段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 階段の中央に手すりが欲しい。 ○ 階段の1段が高い。 ○ 階段しかなく、エレベーターがない。  <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トイレのバリアフリー化ができていない。 ○ ホームの幅が広すぎて行き先の電車がどちらかわかりづらいため、電光掲示板が欲しい。 ○ 小さな段差が多い。 ○ 南小樽駅と小樽市立病院を接続するとよい。 

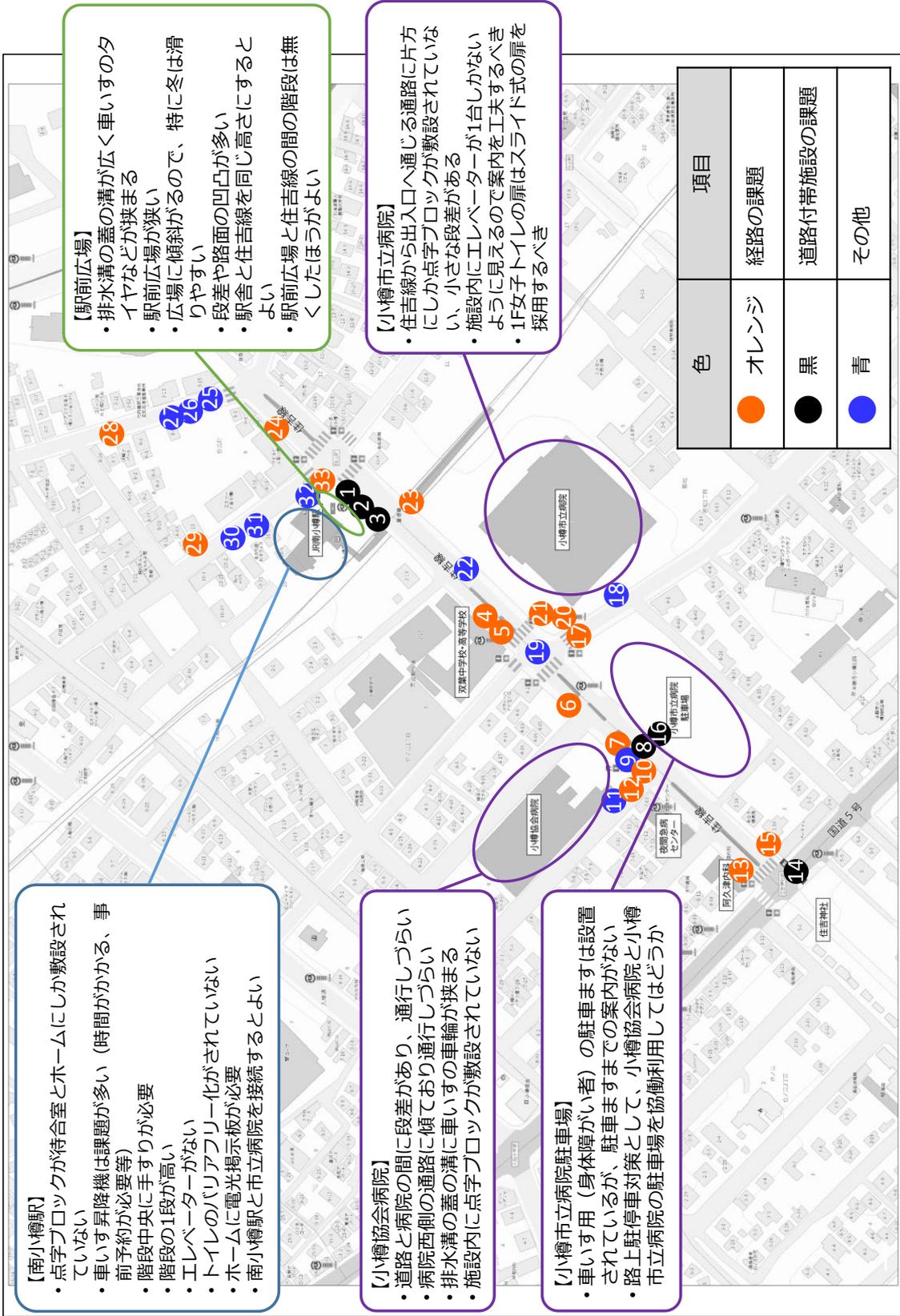
施設	現地調査等における主な意見
<p>駅前広場</p>	<p>【駅前広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 排水溝の蓋のみぞが広いので、車いすのタイヤやピンヒール等はさまれやすく、危険。 ○ 駅舎の立地が悪いので、駅前広場がせまい。 ○ 駅前広場が斜めになっているので、冬に砂をまいても非常に滑りやすく、危険。 ○ ちょっとした坂は冬に怖く、小さい段差は夏に怖い。 <p>【駅前広場から住吉線へ繋がる階段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 階段を無くし、駅舎と同じ高さもしくは緩やかにするべき。 ○ 階段と歩道との段差があるため危険。 ○ 階段の幅が狭く、杖を持っていると上り下りしづらい。 ○ 段差が多くあり、小さい段差で3cm、一番大きい段差で15.5cmもある。 ○ 市道住吉線の交通量も多いので、段差につまずき危険。 ○ コンクリートの小さな段差でもつまずきやすい。 ○ 全体的に道路や歩道の凹凸や段差が多い。
<p>小樽市立病院</p>	<p>【病院入口通路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通路に小さな段差があり、車いすで通行しづらい。 ○ 点字ブロックは大切だが、凹凸があるため車いすで通行しづらい。 ○ 施設出入口がせまく感じるため、通行しづらい。 ○ 入口に通じる通路の片側にしか点字ブロックが敷設されていない。 <p>【病院内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エレベーターが1台しかないように思えるため、エレベーターの案内を工夫するべき。 ○ 1Fの女性トイレの扉は、引いて出にくいので、スライド式の扉を採用するべき。 <p>【駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 車いす用（身体障がい者）の駐車スペースはあるが、駐車スペースまでの案内がない。 ○ 路上駐停車対策として、小樽協会病院と小樽市立病院の駐車場を共同利用してはどうか。



施設	現地調査等における主な意見
小樽協会病院	<p>【住ノ江4丁目線から病院出入口】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道路と病院の間に段差があり車いすで通りにくい。 ○ 病院西側の通路が横方向に傾いており、車いすで通行しづらい。 ○ 排水溝の蓋の溝に車いすの車輪がはさまるため、通行しづらい。 <p>【病院内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 点字ブロックが敷設されていない。



【課題のある地点】



【調査結果のまとめ】

生活関連経路である市道住吉線では、歩道幅が一部狭くなっていることや歩道の傾斜がきついことで車いすでの通行がしづらいとの意見が多く、点字ブロックの破損についての指摘もあった。

市道山の上線や住ノ江 3 丁目線などのその他の経路については、歩道がないことや、路上駐車が多く車いすでの通行に支障がでるとの指摘があった。

交通安全施設については、青信号の時間の短さや、冬期における押しボタン式信号機の利用しづらさについての指摘があった。

道路付属施設については、バス停留所におけるバス待ち環境の改善についての意見や、夜間の照明の暗さについて指摘があった。

また、路上駐車や乱横断の多さなど、マナーに関する指摘も多くあった。

南小樽駅については、エレベーターなどの段差解消設備や多機能トイレなど、バリアフリー対応となる設備の設置を望む意見が多くあげられた。

小樽市立病院や小樽協会病院については、点字ブロックの連続性の確保や、エレベーターなどの各設備への案内表示の充実を望む声があった。

